

資料4

AMRアクションプラン2023-2027

薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(2023-2027) 成果指標

- 「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(2016-2020)」では、計画全体を通しての数値目標を設定し、目標達成に向けてAMR対策に取り組んできた。
- 取組により、一部の指標は改善傾向にはあるが、改善の乏しい指標や新たに生じた課題がまだまだ多くあることから、新たな数値目標を設定し、引き続き、国際的な動きと協調しつつ継続的にAMR対策に取り組んでいく。

微生物の薬剤耐性率

	指標	2020年	2027年(目標値)
ヒト に関 して	バンコマイシン耐性腸球菌感染症の罹患数 新	135人	80人以下(2019年時点に維持)
	黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率	50%	20%以下
	大腸菌のフルオロキノロン耐性率	35%	30%以下(維持)
	緑膿菌のカルバペネム耐性率	11%	3%以下
	大腸菌・肺炎桿菌のカルバペネム耐性率	0.1-0.2%	0.2%以下(維持)
関 動 し 物 に	大腸菌のテトラサイクリン耐性率	牛19.8%、豚62.4%、鶏52.9%	牛20%以下、豚50%以下、鶏45%以下
	大腸菌の第3世代セファロスポリン耐性率	牛0.0%、豚0.0%、鶏4.1%	牛1%以下、豚1%以下、鶏5%以下
	大腸菌のフルオロキノロン耐性率	牛0.4%、豚2.2%、鶏18.2%	牛1%以下、豚2%以下、鶏15%以下

※2027年のヒトにおける目標値は、保菌の影響を除く観点から黄色ブドウ球菌メチシリン耐性率、緑膿菌カルバペネム耐性率は検体を血液検体、大腸菌フルオロキノロン耐性率は尿検体の耐性率とする。

2023年1月から3月分の提供データを用いて以下の集計を行いました

1. バンコマイシン耐性腸球菌感染症の罹患数 (全検体)
2. 黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率 (血液検体)
3. 大腸菌のフルオロキノロン耐性率 (尿検体)
4. 緑膿菌のカルバペネム耐性率 (血液検体)
5. 大腸菌・肺炎桿菌のカルバペネム耐性率 (全検体)

AMRアクションプラン2023-2027 の目標値に対する静岡県の状況

-2023年1月から3月までのデータ-

項目	2027年 (目標値)	2023年1-3月 静岡県*
VRE罹患数	80人以下	13人 (~12/17時点)
黄色ブドウ球菌メチシリン耐性率 (血液検体)	20%以下	31.7% (n=491)
大腸菌フルオロキノロン耐性率 (尿検体)	30%以下	32.3% (34.8%) (n=2294)
緑膿菌のカルバペネム耐性率 (血液検体)	3%以下	IPM/CS: 7.4% (13%) (n=54) MEPM: 10.3% (13.2%) (n=73)
大腸菌のカルバペネム耐性率 (全検体)	0.2%以下	IPM/CS: 0% (1.1%) (n=3510) MEPM: 0% (n=4343)
肺炎桿菌のカルバペネム耐性率 (全検体)	0.2%以下	IPM/CS: 0.4% (0.7%) (n=1339) MEPM: 0.2% (0.4%) (n=1686)

* :%は耐性(R)と判定された割合、カッコ内の%は非感受性率(“感受性(S)”以外に判定された割合)